

令和8年度  
当初予算審査  
特別委員会  
3月19日～25日



委員長  
飯田正義

※当初予算審査特別委員会は、新年度予算案を詳細に審査する特別委員会です。

子育て教育部

出生時や小中入学時に5万円の支給や学校給食費無償化を実施。湯沢学園への大型モニター整備、「こども誰でも通園制度」を開始し、多様な子育て家庭を支援。

**Q** 学校給食費無償化は予算書に給食費徴収金と計上されているが、保護者に徴収するのか。

**A** 法的には保護者負担となるため帳簿上は徴収金を計上している。町が保護者に代わって補助金として学校へ支払うため、保護者の実質的な金銭負担はない。

企画産業観光部

移住・定住促進に向け新幹線通勤補助金等を継続し、副業型地域活性化企業人を活用して公共交通課題の解決を図る。湯沢町観光まちづくり機構へ約9,415万円を支援しつつ、温泉街活性化事業や湯沢版Ma

aS推進事業の夏期実証運行等を通じて、地域経済と観光産業の持続的発展を目指す。

**Q** 新幹線通勤補助金は移住者のニーズが変化している中で継続する意義は。

**A** 他自治体に埋もれない尖った政策としてPR効果を狙い継続する。ただし、現在の移住者のニーズや費用対効果については事務事業評価等で今後さらに精査・検討。

税務町民部

システム標準化移行後初となる賦課業務を正確に実施し、eLTAx利用促進や効果的な滞納整理により利便性向上と税収確保を図る。戸籍へのフリガナ記載やマイナンバー対応を進め、子ども・子育て支援金の円滑な徴収を行う。

**Q** マイナンバーカード交付事務等に関する国・県からの補助金は、実際の窓口負担に見合っているか。

健康福祉部

**A** 補助金は専従の会計年度任用職員の人件費分にとどまる。実際には正規職員も交付や写真撮影の補助を行っており、交付金だけでは実態の業務負担に足りていない。

遠方の医療機関を受診する産婦や不妊治療者へ交通費支援を新設。介護人材確保や特別養護老人ホームへの看護師派遣を実施。湯沢病院の生化学自動分析装置等の医療機器更新や免震装置の詳細調査を行う。

**Q** 特別養護老人ホーム八色園の運営負担金増と今後の見通しは。

**A** 資金枯渇により一時的に大幅増額となった。今後は要介護度の高い入所者の確保や身元保証人がいない障がい者の受け入れなど、収益改善に向けた取り組みが行われる予定。

地域整備部

消雪パイプリフレッシュや橋梁長寿命化修繕等の道路橋梁新設改良、除雪対策を推進する。中央公園の長寿命化改修、滝沢駐車場の無人料金システム導入と地中熱融雪設計、湯沢浄化センターの耐震診断や設備工事等を実施する。

**Q** 滝沢駐車場の通年有料化に伴い、導入が予定されている地中熱利用融雪施設とは。

**A** 滝沢駐車場を通年有料化し、入口A等への無人料金徴収システムを設置する事業と併せて、地中熱利用融雪の設計を行う。融雪水を地下で循環させて消雪を促すシステムであり、冬季の確実な消雪によって駐車区画数の確保を図る。

総務部

給与改定等による人件費増や、システム標準化に伴う情報システム包括支援委託（約1億5千万円）などの経費が大きな割合を占める。新規事業として、新たな浸水想定区域を反映した総合ハザードマップ作成や空き家実態調査を実施。また、湯沢高原関連施設譲渡に向けた施設改修基金を創設する。

**Q** 湯沢高原ロープウェイに対して町はどのような将来展望か。

**A** 町単独での直営リゾート運営はコスト面で困難であるため、最小限の負担で施設を維持・延命し、将来的には完全な民間主導の自立運営となることを期待。